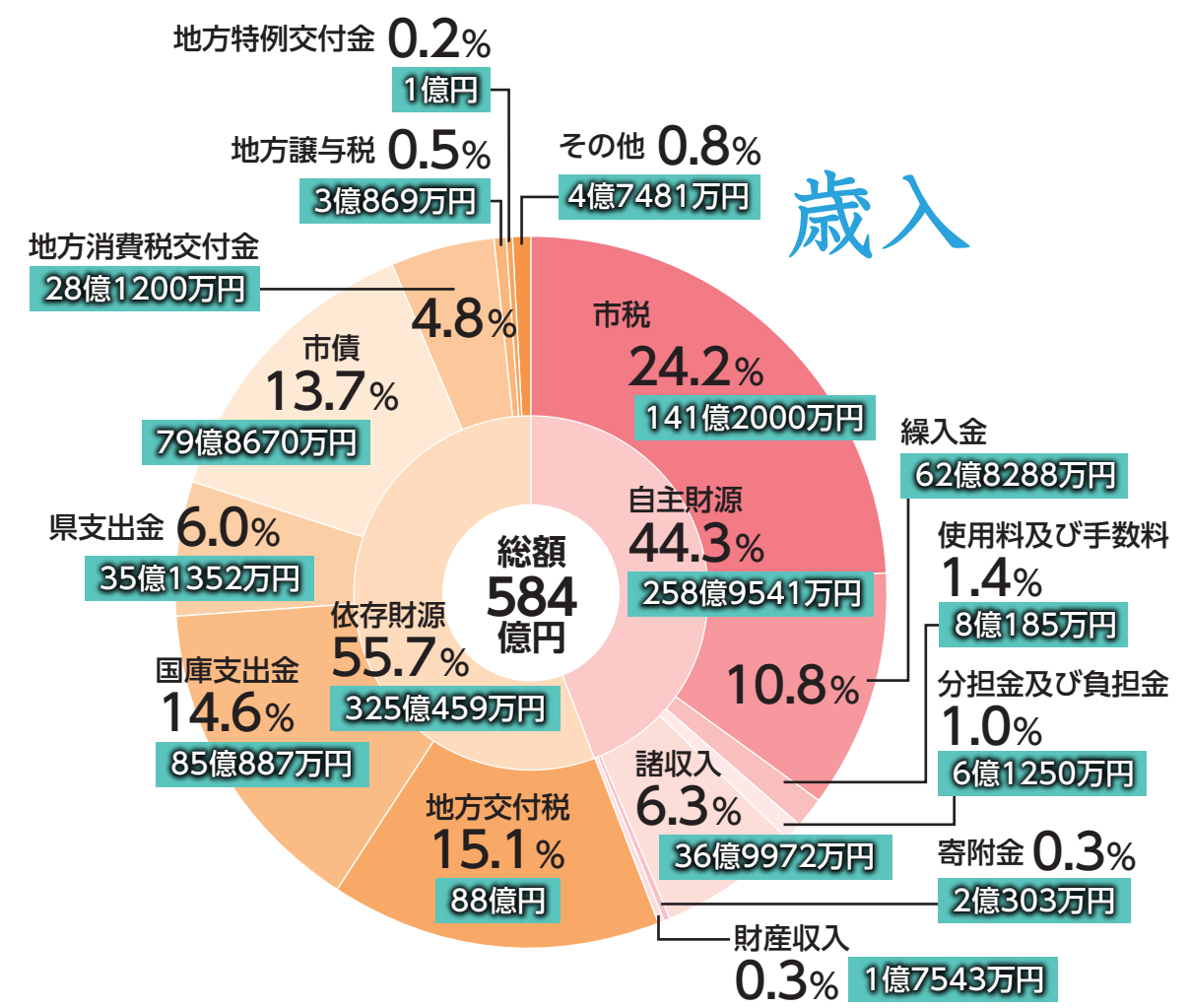


丸亀市の予算

令和5年度 当初予算について

歳入



令和5年度は、新型コロナウイルスワクチン接種事業などの感染症対策、デジタル化やゼロカーボンシティの推進などに引き続き取り組みほか、喫緊の課題である浸水排水対策への取り組みや新市民会館の整備、公共施設の老朽化対策などによる投資的経費の増加が影響し、一般会計予算総額は前年度比45億円、率にして8.3%増の584億円となり、2年連続で過去最大の予算となりました。

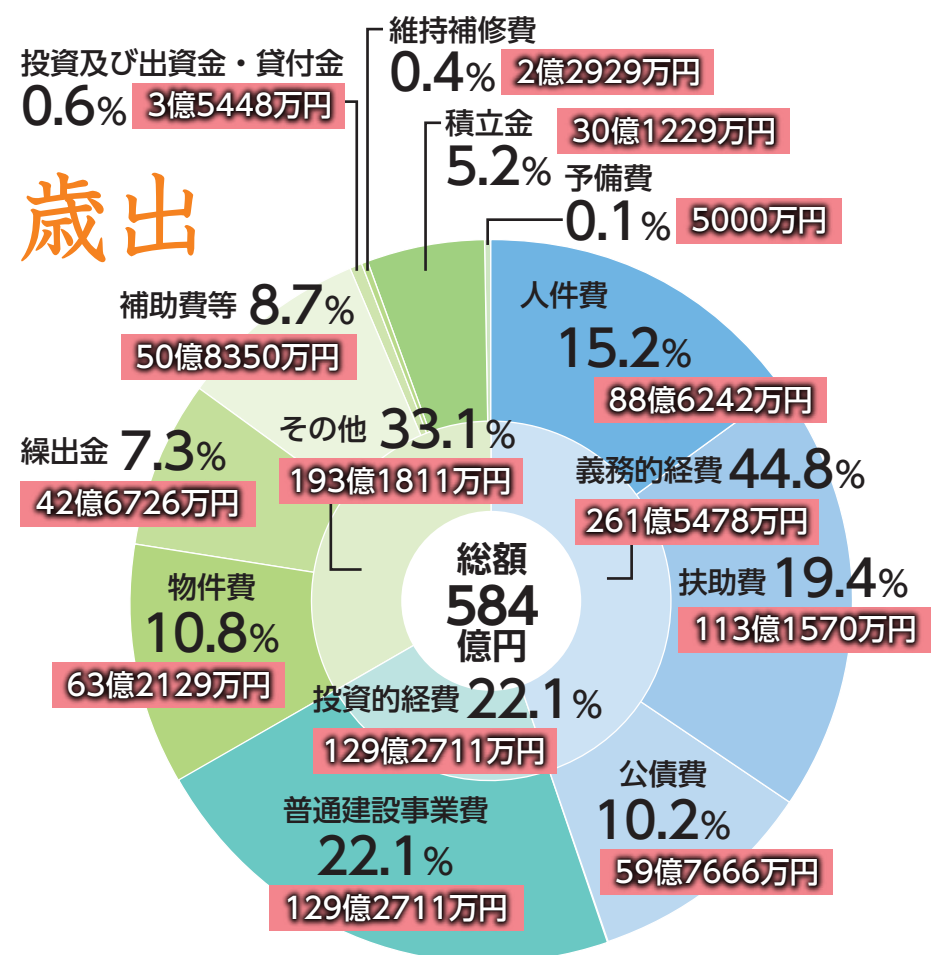
歳入

市税は前年度と比較して1億9600万円(+1.4%)の増となる141億2000万円、地方譲与税及び各種交付金は前年度比約2億6400万円(+7.7%)の増となる約36億9500万円、地方交付税は前年度比4億円(+4.8%)の増となる88億円を見込んでいます。一方、臨時財政対策債は、一定程度の増の増加などから発行抑制傾向にあり、前年度比4億2000万円(▲58.3%)減少の3億円となっています。

歳出

(1) 義務的経費
人件費、扶助費、公債費の義務的経費は合計で約261億5500万円、歳出全体の44.8%を占め、前年度と比較して約1億3700万円(+0.5%)の増となっています。そのうち人件費は、前年度比約1億6400万円(▲1.8%)の減、扶助費は前年度比約3億1800万円(+2.9%)の増、公債費は前年度比約1700万円(▲0.3%)の減となっています。

歳出



(2) その他経常経費など
物件費は、光熱水費などの物価高騰の影響に加え、総合排水計画やDX推進に係る業務委託料などが増加し、前年度比約5億6100万円(+9.7%)の増となっています。また補助費等は、前年度比約5400万円(+1.1%)の増、各特別会計への繰出金は総額で約42億6700万円、前年度比約2000万円(▲0.5%)の減となっています。

(3) 投資的経費

投資的経費では、引き続き学校教育施設などの老朽化対策に取り組むほか、新市民会館や北消防署

重点的施策

1. 心豊かな子どもが育つまち	
小中学校給食費無償化	3億9514万円
こども医療給付費	8000万円※拡充部分
小学校建設費 (城南小・城坤小・城東小・飯山北小・飯山南小・広島小中)	8億5697万円
中学校建設費 (綾歌中)	4億270万円
保育所及びこども園建設費 (仮称)城東こども園・(仮称)城乾こども園	9億255万円
2. 安心して暮らせるまち	
《ゼロカーボン推進経費》	
再生可能エネルギー導入促進事業費	4896万円
体育施設LED照明整備事業費	4億7500万円
小中学校屋内運動場他LED化事業費	2680万円
公園緑地整備事業費 (郡家地区・城南地区)	1億3780万円
《排水対策事業》	
総合排水計画策定事業費	5500万円
排水対策事業費	3300万円
土地改良施設整備事業費 [下水道事業会計]	2500万円
浸水対策事業	6億2500万円
新市民会館整備関連	29億824万円
コミュニティバス無料キャンペーン	1000万円
離島住民自動車海上輸送費補助金	400万円
離島住民通勤等航路費補助金	800万円
3. 活力みなぎるまち	
イノシシ集中捕獲推進事業	949万円
市代表団ヴィリッヒ市派遣事業委託料	260万円
4. 健康に暮らせるまち	
重層的支援体制整備事業への移行準備事業費	1723万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業費	2億1599万円
電子母子手帳導入委託料	80万円
5. みんなでつくるまち	
子育て世帯離島移住促進事業費補助金	80万円
空き家改修支援事業費補助金	2200万円
丸亀城石垣復旧事業費	4億1800万円
丸亀城延寿閣改修事業費	1億9872万円
スケートボードパーク等施設整備事業費	3億7605万円
[モーターボート競走事業会計]	
グリーン・モーヴィ運営事業	2億3000万円

特別会計および公営企業会計の規模

会計名	当初予算額	増減率(%)
国民健康保険特別会計	117億400万円	▲2.9
国民健康保険診療所特別会計	1億750万円	▲41.9
駐車場特別会計	1億110万円	21.4
後期高齢者医療特別会計	17億7800万円	6.4
介護保険特別会計	94億8100万円	1.5
介護保険サービス事業特別会計	1億1930万円	3.6
特別会計 合計	232億9090万円	▲0.7
下水道事業会計	80億7436万円	20.2
モーターボート競走事業会計	1196億1582万円	▲6.4

新訓練塔兼資機材保管庫、スケートボードパーク、公園の整備など、総額で約129億2700万円、前年度比約47億3300万円(+57.8%)の増となっています。また、コミュニティセンターや市道、土地改良施設などの整備にも取り組み、安心して日々を過ごし、豊かさや暮らしやすさを実感できる基盤整備を進めています。